

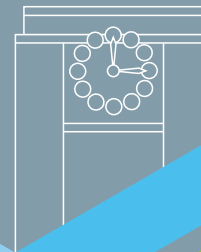


京都大学 Center for the Promotion of Excellence
in Higher Education, Kyoto University
高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 | 電話：075-753-3087 | Fax：075-753-3045

京都大学の教育サポートリソース

How Kyoto University supports your teaching and student learning



情報環境機構

図書館機構

総合博物館

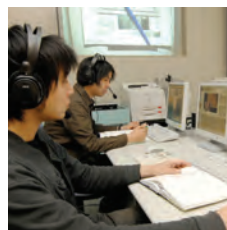
学生総合支援センター

環境安全保健機構健康管理部门 保健診療所

国際教育交流課

男女共同参画推進センター

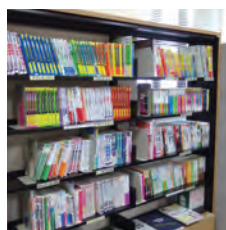
高等教育研究開発推進センター



京都大学には、教育サポートを行っている多くの組織があります。しかし、従来、その活動を一目で見渡せる資料がありませんでした。そこで、2012年に第1版、2015年に第2版、2016年に第3版が作られました。

その後、組織の改編・統合があり、活動の中身も変わってきました。それに伴い、このたび、それぞれの組織から情報を提供していただきながら、第4版を作りました。

教育上で何か困ったことが起きたとき、何か新しいことをやろうとするときには、このパンフレットを開いてください。きっとサポートしてくれる組織・活動が見つかるはずです。手元に置いておいて活用していただければ幸いです。



CONTENTS

情報環境機構	5
図書館機構	9
総合博物館	11
学生総合支援センター	12
環境安全保健機構健康管理部門 保健診療所	15
国際教育交流課	17
男女共同参画推進センター	19
高等教育研究開発推進センター	21



こんなときには…

学生に関する相談

- 心理的に問題を抱えていると思われる学生に対して、どのように接していいかわからない
→ [学生総合支援センター カウンセリングルーム](#) — P13
- 障害を抱えた学生に対して、授業でどのような工夫が必要なのか知りたい
→ [学生総合支援センター 障害学生支援ルーム](#) — P12
- 学生や院生から就職について相談を受けたのだが、どのようにアドバイスすればいいかわからない
→ [学生総合支援センター キャリアサポートルーム](#) — P14

研究活動に関する相談

- 研究室のウェブサイトをつくりたいが、どのようにしていいかわからない
→ [情報環境機構](#) — P6
- 遠隔会議を行いたい
→ [情報環境機構](#) — P6
- 育児と仕事・研究の両立で悩んでいる
→ [男女共同参画推進センター](#) — P19

授業に関する相談

- 教材を作成するにあたって、アドバイスがほしい
→ [情報環境機構](#) — P6
- 教材をオープンアクセスにしたい
→ [図書館機構](#) — P9
- 資料提供、課題やレポートの出題・提出・採点・返却をオンラインで行いたい
→ [情報環境機構](#) — P5
- 京大でどのような授業が行われているのか知りたい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P22
- MOOCやOCW、オンライン授業などのICTを活用した教育について相談したい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P22
- インターネット環境を利用してキャンパス間や他大学をつないで授業を行いたい
→ [情報環境機構](#) — P6
- 学生に資料の探し方を教えたい
→ [図書館機構](#) — P9
- 学生に授業外でグループワークをさせるための施設・設備を知りたい
→ [情報環境機構](#) — P8
→ [図書館機構](#) — P9
- 普段の教室以外の場所で資料・標本・ツールなど活用して授業を行いたい
→ [情報環境機構](#) — P8
→ [図書館機構](#) — P9
→ [総合博物館](#) — P11
→ [男女共同参画推進センター](#) — P19

海外留学・留学生に関する相談

- 学生から海外留学について相談を受けたのだが、アドバイスや情報を得られる場所を知りたい
→ [国際教育交流課](#) — P18
- 海外の学生から、留学・入学についての問い合わせが来た
→ [国際教育交流課](#) — P17
- 学業や生活面で困っている留学生がいるので、相談したい
→ [国際教育交流課](#) — P17
- 留学生が日本語でなくても気軽に学習相談できる場所を知りたい
→ [図書館機構](#) — P9

教育研修や教育改善に関する相談

- 部局で教育改善の担当者になったが、何をしていいかわからない
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P21
- 他の教員が行っている授業の工夫について知りたい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P22
- 京大の教育についてどのようなことが議論されているのか知りたい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P23
- どのような教育研修の機会があるのか知りたい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P24
- 教育評価・アセスメントについてどんな支援が受けられるのか知りたい
→ [高等教育研究開発推進センター](#) — P24





情報環境機構

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/>

問い合わせ総合窓口 情報環境支援センター E-mail: support@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構は、以下の機能を全学に提供しています

- 全学の情報基盤に関する企画と整備
- 情報環境の安全性確保
- 情報基盤の運用による多様な利用サービスの提供
- 高度な情報技術、情報活用能力を備えた人材の育成等

- ・情報環境機構では、情報通信技術（ICT）の観点から京都大学における教育学習環境を整備し、教員・学生の教えと学びの活動を支援しています。

ここでは、次の3つについてご紹介します。

(1) ICTを活用して教育を行うための「教育リソースの活用支援」

(2) 利用のためのライセンスが必要な

「アプリケーション・ソフトウェアの利用支援」

(3) ICT を活用した「施設・端末等機器の提供」

- ・各システム・サービスの利用に際しては、教職員アカウント

（SPS-ID）又は学生アカウント（ECS-ID）が必要です。教員（非常勤講師を除く）の方には着任時にSPS-IDが発行されます。非常勤講師の方には申請に基づきECS-IDを発行しています。

▶ 詳しくは、情報環境支援センター（学術情報メディアセンター南館1階）

電話:075-753-7840、E-mail:support@iimc.kyoto-u.ac.jp までお問い合わせください。



1 教育リソースの活用支援

- ・情報環境機構では、授業に関連して使用できる教育リソースとして次のサービスを提供しています。

a ウェブベースの教育学習支援環境を提供する学習支援サービス(PandA)

- ・授業資料の提供や課題の出題・提出採点・返却、オンラインテスト等、ウェブブラウザが利用できる端末から世界中どこからでも利用できる授業支援機能を提供するコースマネジメントシステムです。利用の開始手続きを教務情報システムKULASISの「授業サポート」ページから行うことで、科目担当者・履修学生の登録は自動的に行われます（科目情報・履修情報の連携度合いは部局によって異なります）。

▶ 詳しくは、機構ウェブサイトから「PandA公式ガイドブック」をご覧ください。

b 高精細遠隔講義システムを利用した遠隔講義のサポートを行うための遠隔講義支援サービス

- ・吉田・桂・宇治キャンパス等の学内21教室に設置された高精細遠隔講義システムを利用した遠隔講義のサポートを行っています。
- また、高精細遠隔講義システムは、他大学等との遠隔講義及び会議も可能です。



c 教員・学生間のコミュニケーションを支援する全学メールサービス(KUMOI)

- ・クラウドサービス Microsoft Office 365 Education を用いた学生用メールサービスです。各学生には、@st.kyoto-u.ac.jp ドメインのメールアドレスが割り当てられ、PCやスマートホンからメールの送受信が行えます。PandAから送信される各種通知メール（ファイルをアップロードした際や課題を公開した際など）は登録されている全学メールアドレスに送信されますし、KULASISからの様々な教務関係のメールも送られます。

d eラーニング型での自学自習研修を支援するeラーニング研修支援サービス(サイバーラーニングスペース)

- ・学生生活におけるコンプライアンス研修や様々な講習をeラーニング型で提供できるサービスです。現在、国際高等教育院が「心の健康について」「危険ドラッグについて考える」「急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント」「京大生と自転車」「レポートの書き方」のeラーニング教材を、研究部研究推進課が「安全保障輸出管理研修」「動物実験研修」を提供しています。

e Web ホスティングサービス

- ・教育・学習活動の成果をウェブサイトを作成し、発信することができます。PandAでもウェブページを作成し、インターネットから誰でも閲覧可能にすることはできますが、Webホスティングサービスでは、CGIやPHP等のスクリプト言語とデータベース（MySQLとPostgres）やCMS（Content Management System）を用いて、本格的なウェブサイトを構築できます。利用には利用負担金が必要となります。

f キャンパス ICT ラボ —京都大学のための ICTシステムの実験場—

- ・キャンパスICTラボとは、大学に必要とされるICTサービスを見極めるために、先進的なサービスを試験的に導入してテスト利用していただく場です。
- ・実験的なシステムを構築・公開してみたい方と、それを使ってみたい学内（時には学外も）の方が対象です。
- ・開発中、又は動作実績がないシステムでも構築・公開でき、ユーザに使ってもらうことで実践的な検証が行えます。
- ・京都大学に関するユニークなシステムや最新のシステムを利用することができます（ただし、動作保証はありません）
- テスト利用の結果を反映して、正式なサービスとして導入したり、より良い別のサービへ移行したり、試行サービスを終了する場合もあります。

【キャンパスICTラボで試行しているサービス・開発したサービス】

- ◆クラウドストレージサービス（Nextcloud）
- ◆短縮URLサービス（KNIVES）
- ◆独自アカウントの自動配布システム
- ◆コンテンツ配布サービス（kubar）

2 アプリケーション・ソフトウェアの利用支援

・情報環境機構では、本学が使用するためのソフトウェアライセンス取得のための学内調整、事業者との交渉、契約を行うとともにライセンス管理のためのツールの提供など、取得されたライセンスの統一的な管理を行うことを目指しています。

一般的なソフトウェアについては、従来は各研究室、事務室が必要に応じて独自に購入し利用してきましたが、大学としてキャンパスライセンスを取得し、これを購入することによって、大学全体としてのソフトウェア購入経費を削減することができます。また、専門的なソフトウェアについても、利用する研究室がまとめてグループライセンスを取得することによって、同様の効果が得られます。

▶最新情報は情報環境機構webサイトをご確認ください。

【京都大学生協で購入可能】

- ◆ Microsoft アカデミックオープンライセンス（マイクロソフト株式会社）
- ◆ LabVIEW キャンパスサイトライセンス（日本ナショナルインスツルメンツ株式会社）
- ◆ Adobe CLP ライセンス(アドビシステムズ株式会社)

・このような全学包括契約ライセンスだけでなく、専門的なソフトウェアのグループライセンス取得も含め、学内調整、事業者との交渉、契約を行うとともに、取得されたライセンスの統一的な管理を行うことを目指しています。

【研究者グループでの利用】

- ◆ MATLAB (MathWorks Japan)
- ◆ Maple (サイバネットシステム株式会社)
- ◆ ChemOffice (パーキンエルマー・ジャパン社)
- ◆ ArcGIS (ESRIジャパン株式会社)

【コンピューティングサービスでの利用】

・また、コンピューティングサービスでも、計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアのサービスを提供しています。(利用には、利用負担金が必要です)

- ◆ 可視化 AVS/Express、Tecplot、IDL、Exceed onDemand
- ◆ リモートセンシング ENVI
- ◆ 数式処理 Maple、Mathematica
- ◆ 構造解析 Adams、Nastran、Patran、Marc、MarcMentat、LS-DYNA、ANSYS
- ◆ 計算化学 Gaussian、GaussView、MOPAC
- ◆ 統計解析 SAS
- ◆ デバッグ TotalView

3 教育用PC端末の提供

教育用コンピュータシステムのPC端末サービスは、本学の情報教育を支援するために提供されるサービス群で、次のサービスを提供しています。

・固定型端末サービス

固定型端末はWindows10が利用できる情報教育用のPC端末で、約1,200台のPC端末を学術情報メディアセンター南館や各学部のサテライト演習室に分散して設置されています。また、授業時間外でも自由にPC端末を利用できるオープンスペースラボラトリ(OSL) や共用P Cエリアも、学術情報メディアセンター南館、附属図書館、吉田南総合図書館の3ヶ所に設置されています。

・仮想型端末サービス

固定型端末と同等の端末環境に、個人所有のPC端末等からリモートデスクトップ接続で利用できるサービスです。OSはWindows10とUbuntuが利用できます。授業で使用する場合は申請が必要になります。

・クラウドストレージサービス

教育用コンピュータシステムの利用者ストレージにあるファイルに個人所有のPC端末等からアクセスできるサービスです。ファイルを保存するだけでなくファイルを共有する機能などもあります。

アプリケーションソフトウェアは学期ごとにバージョンアップ等の要望を調査しています。利用可能なソフトウェアについてはお問い合わせください。



情報環境機構広報誌『Info!』

情報環境機構では、広く学内の構成員の方に機構で取り組んでいる様々な提供サービスの情報や活動状況などをお伝えするために、広報誌として『Info!』を年3回発行しています。

親しみをもっていただけるような広報誌となるよう、専門用語をできるだけ避け、わかりやすい内容となるよう努めていますので、ぜひご愛読ください





図書館機構

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 図書館機構HP > お問い合わせ
所在地・開館日程 図書館機構HP > 図書館・室一覧

図書館機構が行う学修・教育支援		
1. 図書館資料の活用	2. 学術情報リテラシー支援	3. さまざまな学習への誘い
4. 教材のオープンアクセス化	5. 最新の学内図書館情報の入手	

1 図書館の資料を教育に活用するには

- ・蔵書数は全学で約724万冊です。利用条件は、所蔵している図書館・室により異なります。
一部を除いて、京大蔵書検索システム「KULINE」(クライン)で検索できます。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 資料検索 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/search2/12201>



- ・電子ジャーナル(約5.1万タイトル)、電子ブック(約7.6万タイトル)、データベース(約100種類)が利用できます。利用にあたっては、SPS-ID(教職員アカウント)もしくはECS-ID(学生アカウント)が必要です。

▶ 図書館機構HP> 電子リソースへのアクセス <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13505>

- ・利用者個人のためのオンラインサービス「MyKULINE」(マイクライン)では次のことができます。ログインにはSPS-IDもしくはECS-IDを使います。

◆ 貸出中の返却期限の延長申し込み ◆ 資料の他大学などからの取り寄せ

◆ 貸出中の本の予約 ◆ 遠隔地キャンパスからの取り寄せ

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> オンラインサービス利用案内 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718>

- ・図書館の利用全般については、機構HPの案内を参照ください。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 利用案内 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12705>

2 レポート等を書くのに必要な情報探索技術を学生に身に付けさせるには

- ・論文・レポートを書くための文献や情報の収集、卒業論文作成のための文献調査等に必要な技術を演習によって習得しながら、情報探索の概要が学べる全学共通科目を実施しています(2単位)。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 学習/研究サポート> 全学共通科目「大学図書館の活用と情報探索」
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/support/12303>

- ・文献収集法、データベースの使い方などの講習会を実施しています。また、ご要望に応じて、個別講習会を実施いたします。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 講習会 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/support/12304>

- ・各種データベースの使い方や資料別の探し方をご案内する「レファレンスガイド」が利用できます。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 資料の探し方(レファレンスガイド) <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/refguide/13222>

【学術リテラシー支援】

- ・図書館・室では、辞書・事典、データベース、図書、雑誌等を提供しています。これらを利用して、学生は文献リストやレポートを作成することができます。また、基本的な文献収集法やデータベースの活用方法等について、講習会の開催や授業での補助を実施しています。これにより、学生は図書館資料の利用方法を身につけることができます。



▶ 図書館機構HP> 総合利用案内 > 学習/研究サポート <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/support/1386878>

【学習サポートデスク】

- ・附属図書館1Fラーニング・コモンズ内の学習サポートデスクにて、様々な分野の大学院生スタッフが、日本語・英語をはじめ各種言語で図書館利用や学習に関する相談に対応しています。オンライン学習相談も実施しています。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 学習/研究サポート> 参考調査の申し込み <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/form/14176>

3 アクティブラーニングなど、様々なスタイルの学習を学生に促すには

- ・図書館・室では、多様な学習の形態や学びのスタイルに合わせたスペースを用意しています。

【利用できる施設】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を制限している場合があります。

附属図書館	室名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	サイレント・エリア	1室	146	学内所属者対象。静かに集中して学習するエリアです。PCや電卓などの音の出る機器は使用できません。
	メディア・コモンズ	1室	13(シアター席) 32(コモンズ席)	学内所属者対象。音楽や映画鑑賞、語学学習などができる施設です。
	研究個室	14室	14	大学院生・教員対象。インターネットに接続できる有線の情報コンセントがあります。
	共同研究室	5室	4~20	学内所属者対象。グループでの共同研究・学習などに利用できる部屋です。
	ラーニング・コモンズ	1室	100	学内所属者対象。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習等を行うことのできるスペースです。組み替え自由な机や移動式のホワイトボード、プロジェクター、電子黒板等が備わっており、多様な学習が可能です。
	学習室24	1室	99	学内所属者対象。月曜日:10:00~24:00・火曜日~木曜日:9:00~10:00を除く23時間、金曜日・祝前日:22時まで、土日祝日 10:00~19:00(図書館閉室日の利用を除く)が可能です。

▶ 附属図書館HP> 館内施設 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/>

医学図書館	室名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	グループ学習室	3室	2~12	医学部及び関係部局所属者
	セミナー室	1室	24	
	小閲覧室	2室	1~4	

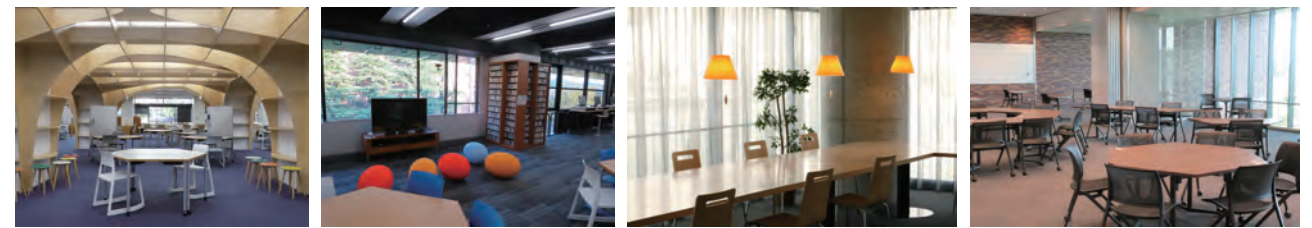
▶ 医学図書館HP> 利用案内 <http://www.lib.med.kyoto-u.ac.jp/>

吉田南総合図書館	室名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	環on(わおん)	4エリア	計40	学内所属者対象(ただし、うちグループ学習室1室(8名)は、吉田南構内関係各部局の所属者に限ります)。個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。

▶ 吉田南総合図書館HP> 環on <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>

桂図書館	室名	室数(室)	収容(人)	対象・用途
	オープンラボ	1室	40	学内所属者対象。研究者間の交流を活性化させ、学生の知的活動を促すとともに学外研究者との協働を促進することを目的とし、グループワークやディスカッションのほか、学会・ポスター展示の会場としても利用できます。なお、両室を仕切る壁は可動式(ホワイトボード仕様)のため、ひとつのエリアとして使用することも可能です。
	リサーチコモンズ	1室	70	
	グループ学習室	3室	30	学内所属者対象。グループワークやディスカッションなどに利用できます。各室は可動壁(ホワイトボード仕様)で仕切ることができるため、最大6室で使用することも可能です。
	個別学習室	1室	10	学内所属者対象。個人で集中して学習するためのエリアです。
	シアタールーム	1室	4	学内所属者対象。映像資料の視聴のためのエリアです。

▶ 桂図書館HP> 桂図書館 https://www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja/katsura_library



4 教材をオープンアクセスにするには

- ・京都大学の教員が生み出した学術論文等の研究成果を「京都大学学術情報リポジトリ KURENAI」によりインターネット上で公開することを支援しています。教材をはじめ、論文や論文の根拠データの公開もできます。

▶ 図書館機構HP> オープンアクセス・オープンサイエンス支援 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/1388199>

5 最新の図書館情報・文献情報を得るには

- ・MyKULINEに条件を登録して、新着図書・雑誌のアラートサービスを利用できます。また、各種データベースに条件を登録して、論文のアラートサービスを利用できます。

▶ 図書館機構HP> 総合利用案内> 新着図書・雑誌アラート <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718#alert>

- ・その他、図書館機構HPまたは所属図書館・室HPの、お知らせをご確認ください。



総合博物館

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-3272

総合博物館の収蔵物

総合博物館は、各学部や研究所などに個別に保管されていた資料を適切な環境の下で集中的に保管・管理し、学内外の研究や教育において活用されることを促進し、かつ、その成果を一般に公開することを目的として設置されたものです。京都大学が1897年の開学以来、100年以上にわたって収集してきた貴重な学術標本(自然史系、技術史系、文化史系など)約260万点を収蔵しています。

1 入館について

- ・ 京都大学の学生は、学生証を提示すれば無料で入館できます。
- ・ 京都大学の教職員は、職員証等の身分証を提示すれば無料で入館できます。
- ▶ 開館時間:水曜日～日曜日 9時30分～16時30分(入館は16時00分まで)
- 【但し、年末年始、創立記念日及び夏季一斉休業日は休館です】
- ▶ 開館時間は変更されることもありますので、当館のウェブサイトでご確認ください。



2 授業での利用について

- ・ 例年、理学研究科等の博物館実習、文学研究科の古文書演習や考古学実習が、総合博物館の所蔵する標本を素材として行われています。また、要望があれば、学生による標本の研究利用に対応しています。近年では、展示室を教育・研究の場として活用したいという要請が寄せられるようになり、分野を問わず積極的に受け入れています。
- ・ 大学院生等による自主的活動として、毎週土曜日に「子ども博物館」の活動が行われています。自分の研究内容をわかりやすく主に子どもたちを対象に解説するプログラムで、学術コミュニケーションの能力を育てるのに役立っています。すでに10年以上続いています。



3 京都大学研究資源アーカイブ

- ・ 京都大学研究資源アーカイブは、京都大学における教育研究の過程で作成・収集されたさまざまな資料、(写真、映像、録音、フィールドノート、実験・観測データなどの一次資料)を、体系的にアーカイブズとして永久保存し、それを教育研究の資源(研究資源)として活用する大学全体の活動です。総合博物館が運営責任部局となり、学内各部局等の協力を得ながら事業を推進しています。
- 【研究資源は、「京都大学デジタルアーカイブシステムPeek」からご利用いただけます。】
- ▶ 京都大学研究資源アーカイブ: <https://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>



学生総合支援センター

<https://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/>

障害学生支援ルーム

カウンセリングルーム

キャリアサポートルーム

学生総合支援センターの設置

大学生活の中で出会う様々な問題や困難な状況をより創造的に乗り越えていくために、またより豊かで充実した大学生活を送るために、学生生活上の様々な悩みについての相談やハラスメントに関する相談(カウンセリングルーム)、就職・進路に関する相談や情報提供(キャリアサポートルーム)、障害に関わる相談や修学支援(障害学生支援ルーム)など、それぞれの分野の専門スタッフが中心となって幅広いサポートを提供しています。



障害学生支援ルーム

<https://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/support/>

問い合わせ先 E-mail : s-sien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-2317

障害学生支援ルームでは、障害により、修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、学修・研究上の必要に応じた修学支援(教育上の合理的配慮)を行っています。専任の支援コーディネーターを配置し、所属学部・研究科等や学内外の関連機関等と連携しながら、支援を実施します。

1 障害学生支援ルームの役割

- ◆ 障害のある学生の授業保障や学生生活をおくる上での支援・相談
- ◆ 障害のある学生をサポートする支援学生の養成・派遣
- ◆ 支援に関連する部局や教職員との連携
- ◆ 支援物品、関連図書の貸出
- ◆ 支援ノウハウ、情報の蓄積・発信
- ◆ 支援に関する各種講座等の開講
- ◆ フリーアクセスマップ(バリアフリーマップ)の作成・配布
- ◆ シンポジウムや研修等の開催
- ◆ 受験希望者の事前相談、オープンキャンパスでの支援

<スタッフ>

障害学生支援ルーム室長:1名(兼任) チーフコーディネーター(准教授):1名
コーディネーター:4名 専門スタッフ:1名 支援スタッフ:2名 事務スタッフ:2名

2 修学支援について

対象:視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害などにより修学上支障がある者
(必要性が認められる場合は慢性的な疫病や一時的な怪我などの相談にも応じます。)
範囲:講義・実験・実習、行事など必要であると認められる範囲

<支援の内容例>

視覚障害:資料等の点訳・音訳、対面朗読、ガイドヘルプ、書籍等のテキストデータ化 等
聴覚障害:ノートテイク、PC文字通訳、映像教材等の字幕付け 等
肢体不自由:施設・設備の整備、教室変更、介助者の配置 等
発達障害:修学環境の調整、TAの配置 等



<貸出物品>

関連書籍・DVD、車椅子、点字プリンタ、簡易筆談器、拡大読書器、ノイズキャンセリングヘッドホン 等

3 交流スペース

障害学生支援ルームには、交流スペースを設けています。障害のある学生と、支援に携わる学生サポーター、さらには教職員も含めた交流の場となっています。また、障害に関する書籍や、支援に関するDVDなど、様々な情報を閲覧することができます。



カウンセリングルーム

<https://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/counsel/index.html>

問い合わせ先 E-mail: counseling@mail.gssc.kyoto-u.ac.jp (吉田キャンパス)

TEL: 075-753-2515

カウンセリングルームでは、学生の皆さんの学生生活上の様々な悩みの相談や、教職員の皆さんの学生との関わり方についての相談、およびハラスメントに関する相談に応じています。社会も、大学も、大きく変わりつつある現状において、人間関係の上でも、個人の内的な価値や生き方の上でも、様々な問題や悩みが生じているように思います。これらに圧倒されてしまうことなく、生き生きとしたキャンパスライフを実現していく上で、カウンセリングルームがお役に立てればと願っています。

1 学生(学部生・大学院生)を対象とした相談業務

<学生生活上の様々な悩みの相談>

- ◆ 人間関係について悩んでいる
- ◆ 進路を変更しようか迷っている
- ◆ 自分の性格について考えてみたい
- ◆ 気持ちが落ち込んだり不安になることがあって苦しい
- ◆ 性のことで悩んでいる
- ◆ 指導教員から性的な嫌がらせを受けている
- ◆ 家族関係について悩んでいる
- ◆ 研究室内でハラスメントを受けている
- ◆ どういうわけか研究にやる気がでない



2 教職員を対象とした相談業務

- ◆ 学生との関わり方について相談したい
- ◆ 職場のハラスメントで悩んでいる

3 大学におけるハラスメントについて

・セクハラ、アカハラ、パワハラについての相談案内がWebに掲載されています。

▶カウンセリングルームHP>「ハラスメントについて」

4 啓発・広報

- ◆ 学部・学科などが主催する学生向けのオリエンテーションやガイダンスへの講師派遣
- ◆ 学内における教職員向けの各種研修への講師派遣
- ◆ 学内におけるハラスメント関係の各種研修への講師派遣

5 その他

・教職員が悩みを抱えた学生を援助するときの、一般的なアドバイスがWebに掲載されています。

▶カウンセリングルームHP>「教職員の方へ」

・学生の両親からの相談も受けています。

・困難を抱えた学生がいた場合、お気軽にまた安心してカウンセリングルームをご利用ください。

他の学内支援機関との連携も進めております。積極的に活用していただければと思います。

・桂キャンパスでは、カウンセリングルーム桂分室にて相談をお受けしています。

※カウンセリングルームでは相談業務が行われていますが、健康科学センター(<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>)では

メンタルヘルスに関する診療が行われています。

(メンタルヘルス以外の診療も行われています)。併せてご活用ください。



キャリアサポートルーム

<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/career/>

問い合わせ先 E-mail: shushoku@mail.adm.kyoto-u.ac.jp (吉田キャンパス)

TEL: 075-753-2483 (吉田キャンパス) / 075-383-7317 (桂サテライト) /

0774-38-4554 (宇治サテライト)

京都大学における就職・就職活動支援は、各学部においては教務掛および就職担当教員が、全学的にはキャリアサポートルームが行っています。キャリアサポートルームでは就職・就職活動に関するガイダンスやセミナーの開催、インターンシップおよび求人情報の公開(自由応募のもの)、個別相談等を行っています。キャリアサポートルームの支援は一部の行事を除き、全学生を対象としています。



1 就職支援について

・学生の就職や就職活動に関する様々な相談に窓口で対応するとともに、以下の活動を行っています。

- ◆ 求人情報の収集と提供
- ◆ インターンシップの情報(個人応募分)の収集とホームページでの公開
- ◆ 企業等在籍OB・OG名簿の収集・管理と閲覧供与
- ◆ 就職関連図書・DVDなどの貸出
- ◆ 就職ガイダンス・セミナー・講座等の企画・開催
- ◆ 合同企業説明会野開催
- ◆ 就職相談室(予約制)の開催・運営
- ◆ 「就職のしおり」の編集・発行

・博士号取得者(見込みを含む)に特化した就職ガイダンス・企業の説明会の開催、求人情報の提供、マッチングサイトの運営などを行っています。

2 ルームの場所と開室日時

キャリアサポートルーム(吉田キャンパス) 平日 9時～11時30分／12時30分～17時

桂サテライト 平日 9時～12時／13時～17時

宇治サテライト 平日 11時～13時／13時45分～17時

※開室日時は変更することがあります。ホームページで確認してください。

環境安全保健機構健康管理部門 保健診療所

<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 075-753-2404(保健診療所受付)

保険診療所の設置

保健診療所は、医師、看護師、薬剤師、事務員が、応急処置や保健指導・健康相談、予防接種、診断書発行、内科および神経科の診療を行っています。

1 利用案内

対象：京都大学に所属する学生、教職員が利用できます。

費用：学生・非常勤職員の方の相談や診察は無料ですが、薬の処方や検査は実費負担となります。常勤職員の方は共済組合保険により窓口負担3割負担となります。

利用方法：診療の予約は不要ですが、健康診断業務等により診療体制が変更となることがありますので、診療所ホームページをご確認の上、来院ください(<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/service/clinic/>)。常勤職員の方は共済組合員証を、それ以外の方は学生証または職員証・身分証と保険証を持参の上、来所ください。



保健診療所のWebページにアクセスできます。



2 診療業務

内科および神経科医師による診察を実施しています。治療薬の処方、血液・尿検査、心電図検査、X線検査、その他、一部の検査も可能です。

3 応急処置

9:00～17:00までの間、医師による診察時間外にも看護師による応急対応を行っています。応急処置が必要な傷病が発生した場合には、保健診療所内科(内線16-2405)までご連絡下さい。なお、反応がないなど緊急を要する状態や重大な事故などの場合は119番通報を優先してください。

4 保健指導・健康相談

生活習慣による高血圧や体重増加などの改善を目指す方を対象に、食事や運動の方法について保健指導を行っています。その他、健康に関わる相談を受け付けています。

5 海外渡航時の予防接種

海外渡航する学生および教職員に対して、予約にてA型肝炎、破傷風、狂犬病のワクチン予防接種を実施しています。詳細についてはウェブサイトを確認してください。なお、インフルエンザの予防接種は実施していません。

6 宇治・桂分室

宇治キャンパス、桂キャンパスの各分室でも医師による診察や看護師による応急処置、保健指導等を実施しています。



国際教育交流課

問い合わせ先 国際教育交流課 TEL:075-753-2482

国際教育交流課の業務

教育推進 学生支援部国際教育交流課では、国際高等教育院やその他部局と連携して、様々な留学プログラムを実施し、できるだけ多くの学生が海外で学ぶ機会を増やすと同時に、京都大学の学生が、外国人留学生と交流し、共学や文化体験できる短期受入れプログラムの提供を支援しています。

1 外国人留学生・研究者受入れに関するプログラム・支援

・京都大学での学生生活や研究生活を支援する様々なサービスを行っています。

【アドバイジング】

・留学生相談室では、留学生・外国人研究者の修学・研究上での、あるいは日本の生活上での様々な悩みや心配事について、指導・助言を行っています。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/students2/campus/advising>

【多文化交流活動(留学生ラウンジ「きずな」)】

・京都大学に在籍する留学生の相互交流、また、留学生と日本人学生および教職員の交流を促進するための様々な活動を行っています。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna/info>

【Admissions Assistance Office:AAO】

・外国の大学を卒業し、京都大学に研究生または大学院生として入学を希望する志願者の出願手続きが、より円滑に行なわれるよう支援を行っています。
▶ <https://u.kyoto-u.jp/graduate-admissions-aao>



2 日本人学生の留学に関する支援

・海外留学を目指す学生のために様々な支援を行っています。

【留学説明会「留学のスズメ」】

・年間を通じて、留学説明会を開催しています。
学生向けの海外留学最新情報は下記のサイトで見られます。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/reserve/susume>

【海外留学に関するアドバイス】

・学生の海外留学支援のために、各種留学相談を受け付けています。
相談スタッフ・相談予約方法・連絡先の情報は、下記のサイトで見られます。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/advice>

3 国際的な教育プログラム

・国際教育交流課では、様々な国際教育プログラムの企画立案、提供、支援を行っています。

3-1. 海外派遣プログラム

【交換留学】

・大学間学生交流協定による派遣留学のプログラムです。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/types/exchange>

【短期留学・研修】

・主に夏期、春期休暇に参加できる日本人学生向け海外留学研修プログラムです。語学研修、文化研修などを目的とし、大学を通じて応募するプログラムと、直接個人で応募するプログラムに大別されます。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/types/program2>

3-2. 京大で学ぶ英語によるプログラム

【京都大学国際教育プログラム(KUINEP)】

・海外の協定校から迎えた交換留学生在が京都大学の学生と学ぶ、国際高等教育院が英語で提供する全学共通科目を中心に履修するプログラムです。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/exchanges/exchange/kuinep>

3-3. KCJS/SJC英語講義の受講制度

・KCJSとは「京都アメリカ大学コンソーシアム(Kyoto Consortium for Japanese Studies)」、SJCとは「スタンフォード日本センター(Stanford Japan Center)」の略で、いずれも米国の大学が運営する高等教育機関です。KCJS/SJCが京都で提供する英語講義に、京都大学の学生が米国の大学生と共に受講できる制度です。
▶ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/student-3/class/kcjsjc>





男女共同参画推進センター

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail : w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-2437

男女共同参画推進センターの活動

男女共同参画推進センターは、京都大学男女共同参画推進本部の実施部門である男女共同参画推進委員会のもとに設置されています。センターは、広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ、育児・介護支援事業ワーキンググループ、病児保育事業ワーキンググループ、就労支援事業ワーキンググループ、教育支援事業ワーキンググループによって、さまざまな活動を行っています。

1 情報提供

- Webサイト、ニュースレター「たちばな」を通じて様々な情報発信をしています。
- また、女子高生に向けて女性研究者や社会で活躍する卒業生を紹介する冊子の発行も行っています。



2 女子高生・車座フォーラム

- 京都大学での学生生活や研究者の仕事を知ってもらうため、毎年「女子高生・車座フォーラム～京都大学を知ろう 学生・研究者と語ろう～」を開催しています。フォーラムでは、理系・文系それぞれにどんな研究分野や領域があるのか、なぜ今の分野を選んだのか、といった大学進学に関わる話をはじめ、試験勉強、進学後の大学生活、研究の面白さや苦労など、さまざまなテーマについての疑問に、学生や研究者がお答えします。



3 開講されている授業

- ジェンダーに関する講義を全学共通科目のILASセミナーと講義科目で提供しています。Webサイトでは「ジェンダー論」の講義の動画を公開しています。

4 利用できる施設・設備

【図書・会議室】

- 教員からの寄贈図書やジェンダー関連書籍も備えており、図書の貸し出しも行っています。
- また、小規模の会議や研究会等に センター内会議室が利用できます。

【保育室・保育サービス】

- センター内に「保育園入園待機乳児保育室」を設置しています。さらに保護者に替わってシッターが子どもを迎えに行き、センターで一時的保育を行う「おむかえ保育」も行っています。
- 京大病院内に、感染隔離室を整備した「病児保育室（こもも）」も設置しています。
- 教職員の仕事と子育ての両立支援を目的として、「ベビーシッター派遣事業割引券」を発行して、ベビーシッターによる在宅保育サービス事業を行う者が提供するサービスを利用した場合に、その利用料金の一部を助成しています。



5 研究支援

【研究・実験補助者雇用制度】

- 育児または介護のために十分な研究・実験時間の確保が難しい研究者に対し、研究や実験業務を補助する者の雇用経費を助成する制度です。募集は年2回行っており、女性に限らず、男性も応募することができます。また、研究分野の文系・理系は問いません。

【メンター相談】

- 女性の先生方にメンターをお願いし、女性の学生・院生・研究者の相談を受けていただいています。研究者になりたい、研究分野を選択するのにアドバイスが欲しい、研究分野を変えたいなど、研究上のことで困ったときの相談に対応しています。

【たちばな賞（京都大学優秀女性研究者賞）】

- 分野を問わず学術上優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を顕彰し、当該若手女性研究者およびこれに続く多くの若手女性研究者の研究意欲を高め、もって、本学、さらには我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成等に資することを目的に、平成20年度に「たちばな賞」を創設しました。毎年、学生部門・研究者部門各1名ずつを表彰し、表彰式において受賞者による研究発表を行います。





高等教育研究開発推進センター

<https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

問い合わせ先 E-mail : 550center@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-753-3087

高等教育研究開発推進センターの活動

本センターは以下の教育サポートを行っています。
・京大の教育改革 ・FD支援 ・ICTの教育的活用 ・教育アセスメント

1 京大の教育改革・FD支援

【勉強会の企画・運営】

・京都大学ではこれまで、全学の教育制度委員会の下で、コースナンバリングやGPA、カリキュラムの体系化などの教育制度改革が行われてきました。2014年度は学士課程、2015年度は大学院課程においてカリキュラムの可視化を行いました。本センターは、それらの改革を支援するために、勉強会の企画・運営に携わるとともに、要望に応じて各部局のコンサルテーションを行っています。

【FD専門委員会の支援】

・本センターは、教育制度委員会の下におかれたFD専門委員会の活動を全面的に支援しており、「大学院生の教育実践講座」や「新任教員教育セミナー」などの研修プログラムを企画・実施しています。FD専門委員会では、毎年、『京都大学のFD』を発行するとともに、ウェブサイトに講習会の情報や報告書などを掲載し、学内のFD・教育改善の取組を一覧できるようにしています。

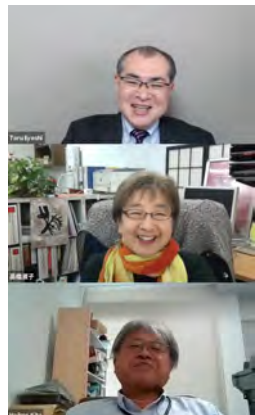
▶ <http://www.fd.kyoto-u.ac.jp/>

【オンライン授業／ハイブリッド型授業を支援するための学内講習会】

・コロナ禍の中でも「学び・教え続ける」ために、本センターでは2019年度末から、情報環境機構と連携しながら、オンライン授業／ハイブリッド型授業を支援するための学内講習会を行ってきました。講習会には、①ハイブリッド型／オンライン授業に関する講習会・相談会、②私のハイブリッド型／オンライン授業@京大、③ミニディスカッションフォーラム「今、京大の学生に必要な支援・配慮を考える」、④TA 講習会「TA としてハイブリッド型／オンライン授業を支援する」、⑤「こんなこともできる! オンライン授業」、⑥「ポストコロナの大学授業」などのシリーズがあります。単に本センターの教員が講習機会を提供するだけでなく、部局・個人レベルで行われているさまざまな興味深い取り組みを紹介し、共有するというのが、本講習会の特徴です。

2021年7月現在、講習会は51回、参加者数はのべ約4,800名に上っています。過去の講習会の資料・動画はすべてTeaching Onlineのページに学内限定公開しています。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/guidances.php>



【新任教員教育セミナー】

・京都大学に新たに採用された新任教員を対象としたセミナーです。

「京都大学らしい教育とはどのような教育か」を考え、「学内にはどのような教育サポートリソースがあるのか」「大学・部局や教員はどのような教育的課題を考え、それにどう取り組んでいるのか」を知ってもらうための機会となっています。ミニ講義やグループディスカッションなどを通して、京都大学の教育について理解・議論できるプログラムです。毎年9月頃に開催されています。

▶ <http://www.fd.kyoto-u.ac.jp/>

【大学院生のための教育実践講座】

・将来、大学教育に関わることを希望する京都大学の大学院生、ポスドク、オーバードクターなどを対象とした一日研修です。

大学教員になるための自己形成の場を提供し、また現在の大学教育における課題を共有することを目的に、年に一度8月に開催されています。

参加者には、京都大学総長より修了証が授与され、大学教員公募の際の提出資料として活用できます。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/study/>



【大学院横断教育科目「大学で教えるということ」】

・参加者同士の議論と授業デザインの実習を中心に、大学で教えるということに関する知識とスキルを身につけることを目的とした、京都大学大学院の正規科目です。将来、大学の教壇に立ちたい大学院生の支援となっています。

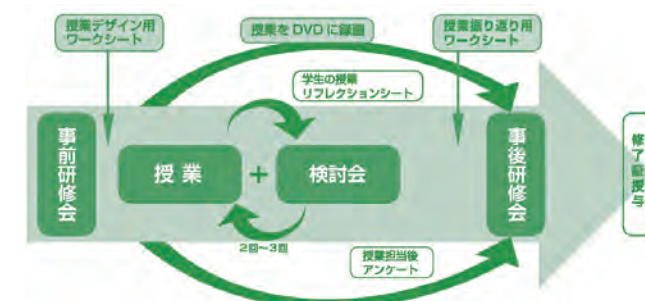
▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/crossing/>

【文学研究科プレFDプロジェクトほか】

・文学研究科のポスドク・オーバードクターのためのキャリア形成支援を目的としたプロジェクトです。毎回の公開授業検討会と事前・事後研修会を行います。所定のプログラムをすべて修了した参加者には、京都大学総長より修了証が授与されます。すでに150名近くが修了証を得ています。

その他、人間・環境学研究科の博士後期課程院生対象のプレFDプログラムとして行われている「教養教育実習」の事前講座も担当しています。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/letters/>



【TAトレーニング】

・GST (Graduate Student Training) 推進室による『TAハンドブック』(日本語・英語)や研修動画「京都大学の教育とTA制度について」の作成に協力してきました。

▶ <https://www.med.kyoto-u.ac.jp/faculty/kyoumu/others/teachingassistant/>

また、オンラインでもTAトレーニングを行っています。

▶ https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/working_with_ta.php

【大学教育研究フォーラム】

- 大学教育研究フォーラムは、全国から600名以上の教職員が集い、大学教育の実践的研究の成果を持ち寄り、口頭発表・ポスター発表を行うもので、例年3月に、2日間にわたり京都大学で開催されます。シンポジウム、参加者企画セッションなどでは、大学教育に関わる最先端のトピックが取り上げられ、京大にいながらにして、全国の様々な大学の優れた教育実践や教育動向を把握することができます。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/forum/>



2 ICTの教育的活用

【オープンコースウェア (OCW)】

- オープンコースウェア (OCW) は、学内で正規に開講されている講義教材をインターネットを通じて無償で公開することを目的として、2001年にMITが開始したプロジェクトです。講義ビデオ、講義ノート、シラバス、小テスト、試験、シミュレーション教材など、MITでは2,500を超える学内のすべての講義の教材が公開されています(2021年7月現在)。

京都大学もOCWを提供しており、通常講義、公開講座、シンポジウムなどの収録ビデオや教材、資料等を学内外に向けて公開しています(2005年～)。講義ビデオなどの資料にはすべて無料でアクセスできます。

OCWで授業や教材を公開することに興味のある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。

▶ <https://ocw.kyoto-u.ac.jp>

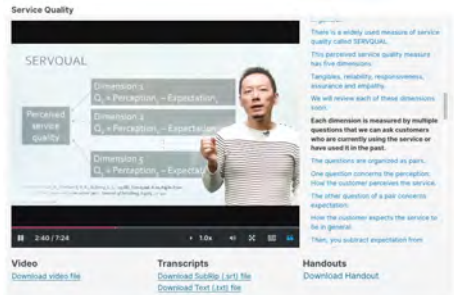


【MOOC:KyotoUx】

- MOOC (Massive Open Online Courses) は、インターネットを通じて配信される無償または安価で受講できる講義のことで、「大規模オープンオンライン講義」とも呼ばれています。世界中から数千～数万名が受講登録し、受講者は講義ビデオやオンラインテストなどを通じて学習を進めます。また、大学の講義と同じように、数週間～数ヶ月かけて受講し、受講期間終了後、一定の成績を収めた合格者には修了証が発行されます。

京都大学は、2013年5月に日本で初めてedXへの加盟を発表しました。edXは、MITとハーバード大学が中心となり設立された世界トップレベルの大学や企業等で構成されるMOOCプラットフォームです。京都大学は、edXを通じて「KyotoUx」という名称で英語による講義を配信しています。MOOCの開講に興味ある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。

▶ <https://www.edx.org/school/kyotoux>



【MOOC: JMOOC】

- 京都大学はMOOCの国内版である日本オープンオンライン教育推進協会(JMOOC)に加盟しており、ドコモgacco社が提供するMOOCプラットフォーム「gacco」より無料で受講できる日本語のオンライン講義を配信しています。国内で多くの学習者を集めたい場合に最適な講義配信の手段です。

JMOOCからのオンライン講義の公開に興味のある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。

▶ <https://www.jmooc.jp>

▶ <https://gacco.org>



【SPOC: KoALA】

- MOOCと同様のツールや仕組みを利用し、各大学が自学の学生向けに提供するオンライン講義・教材・学習環境を総称してSPOC (Small Private Online Courses)と呼び、世界的に注目が集まっています。

京都大学におけるSPOC環境として、KoALAを運用しています。通常の授業の代替としての利用や反転授業や予復習のための教材提供を行えます。一部の講義は一般公開されており、高校生や社会人を含む学内外の学習者に受講を促すこともできます。講義以外にも受講者を限定した研修プログラムを提供している例もあります。

KoALAでは、MOOCと同様に合格点に達した学習者に修了証を発行することができます。

KoALAからのオンライン講義の配信に興味ある先生方・部局は、当センターまでご連絡ください。

▶ <https://koala.highedu.kyoto-u.ac.jp>



【ICT活用教育のためのポータルサイト(CONNECT)】

- CONNECT (CONtents for Next Education and Communication with Technology) とは、京都大学の構成員のみなさまに向けて、MOOCやSPOC、OCW、PandAなどのICTを利用した教育コンテンツを制作・活用するための情報を提供するポータルサイトです。

「MOOCやSPOCって何?どのようにして作成するの?」「OCWにはどのようなコンテンツが掲載されているの?掲載のためには何をすればいい?」...こういった情報をわかりやすく掲載しています。日英両言語対応で、随時ご意見やご質問も受け付けています。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/>



【オンライン／ハイブリッド型授業に関する情報提供サイト(Teaching Online@京大)】

- Teaching Online@京大は、オンライン授業やハイブリッド型授業に関する情報を、京都大学の構成員のみなさまに向けて提供するサイトです。オンライン／ハイブリッド型授業の実施方法や、その実施に関連した知識(例えば、著作権の問題や、学生への連絡内容、学生とのコミュニケーションの取り方、TAとの連携方法、試験・評価の実施方法など)を幅広く紹介しています。学内講習会の最新情報やアーカイブ動画・資料もここで公開しているほか、FAQも充実しており、日英両言語対応です。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/>



・【高大接続を促進するためのポータルサイト(KNOT)】

KNOT (Kyoto University Nexus for Open educational Treasure)とは、京都大学が保有するオープンコンテンツ(OCWやMOOC、KoALAといった、著作権処理をした上で、インターネット上で無料で公開されているコンテンツ)のうち、高校生の使用に適したと思われるものをピックアップし、リード文とともに紹介するポータルサイトです。

ここで紹介するコンテンツは、OCWやMOOC、KoALAに限っているわけではありません。もし高校生に向けて発信したいコンテンツをお持ちの方がいらしたら、ぜひお声がけください。

▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/knot/>



3 教育アセスメント

京都大学における学生の学習経験をより良いものにするためには、学生の学習状況を把握し、個々の授業や正課カリキュラム、準正課活動のあり方などを見直していくことが大切です。センターでは、様々なアセスメント活動を通じて、大学の教育活動を支援しています。

【情報提供】

- 当センターのサイトにおいて、授業における評価活動に関する基本的な情報やリソースを提供しています。

授業における評価について

- ▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/assessment/>

オンライン授業での評価について

- ▶ <https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/assessment.php>



【教員調査】

- 授業レベルでの教育活動の現状を分析し、教育上の課題の把握や、支援の提供、組織レベルでの意思決定への情報提供や、部局などへのフィードバックをすることを通じて、教育活動への支援を行っています。2020年度に実施したオンライン授業に関するアンケート調査の結果については、学内限定でTeaching Onlineに公開しています。

- ▶ https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/report_survey_onlineteaching_AW2020.php



【特色入試の追跡調査】

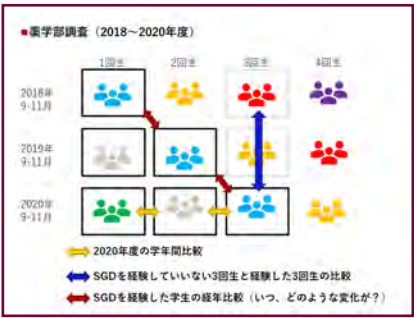
- 部局の依頼を受けて、特色入試で入学した学生の学習状況を把握するための追跡調査を行っています。特色入試については、それぞれの部局で、目的、追跡調査として把握したい内容が異なりますので、相談の上、調査の方法を提案、実施しています。特色入試の追跡調査に関心のある部局は、当センターまでご連絡ください。

【プログラム評価】

- 部局の依頼を受けて、提供しているプログラムの教育評価を行っています。

これまでの活動事例：薬学部の1年次アクティブラーニング科目「薬学研究SGD演習」の教育効果の追跡調査等。

- MOOC、SPOCで提供しているオンライン講義について評価し、結果についてはコースレポートを作成し、講義担当教員にフィードバックをしています。



【その他、各種アセスメント】

- 教育活動における取り組みを評価したい、という要望がありましたら、センターまでご相談ください。

これまでの活動事例：医学教育・国際化推進センターによる医学部卒業生インタビューの支援、教育学部共通科目「教育研究入門 I、II」の評価、等